

## (2) 小学校入門期の各教科等の指導例

### 国語科

### 単元名「絵を見てお話をつくろう」

#### <小学校入門期における指導の在り方>

就学前に、児童は、絵本や物語などに親しむ活動を通して想像する楽しさを味わったり、自ら表現することで言葉の面白さや美しさを味わったりするを経験してきている。

国語科の入門期の教材は、文字がほとんどなく、絵を中心に構成したものを扱う。就学前教育での経験を基に、絵から見付けたことや想像したことについて、話し言葉を用いて表現することをねらいとしている。

この学習では、イメージしたことをみんなの前で話したり、友達が話すことに興味をもって聞いたりすることを大切に、「読むこと」の学習の基本となる力を育てていく。

ねらい：絵を見て想像したことを言葉で伝える。

児童の活動	○ 国語科の指導事項 [ ] 就学前教育で経験してきたこと [ ] 接続を考慮した指導のポイント
<p>教科書の絵を見て、お話をしよう。</p> <p>1 学習のめあてを確認する。            ・絵を見ながら説明すればいいんだね。            ・お話をすることを見付けたよ。</p> <p>2 教科書の絵（登校している様子）を見て、見付けたものを発表する。            ・1年生がたくさんいます。            ・黄色い帽子をかぶっているのが1年生です。            ・桜の花が咲いています。            ・やさしいお姉さんが手をつないでくれています。</p> <p>3 黒板に書かれた「見付けたもの」の言葉を声に出して読む。            ・いちねんせい            ・きいろい ぼうし            ・さくら            ・おとこのこ            ・おんなのこ            ・がっこう            ・せんせい</p> <p>4 絵に出ている人が話していることを想像する。            ・「おはようございます。」            ・「きょう、いっしょに あそぼうね。」            ・「はやく、きょうしつに いこう。」</p> <p>5 学習を振り返る。            ・いろいろなお話ができた。            ・次の絵は、教室の絵にしよう。</p>	<p>○学習内容を理解して見通しをもつ。            [ ] 目的や課題を自分のこととして受け止め、これまでの経験を生かすなど工夫して取り組む。(思考)            [ ] 絵を見ながら言葉で説明していくという学習の見通しをもてるようにする。            ・児童の発言を取り上げ、学習への興味・関心を高めるようにする。</p> <p>○場面の様子をつかみ、見付けたことを発表する。            [ ] 絵を見て見付けたことをみんなの前で話す。(言葉)            [ ] 安心して発表できるような雰囲気を大切にしながら、徐々に「発表の仕方」が身に付くようにする。            ・自分から発言できたことを称賛する。            ・指名されたら返事をするように声を掛ける。            ・敬体で話すことを意識するように声を掛ける。</p> <p>○文字で書かれている言葉を声に出して読む。            ○音節を意識して読む。            [ ] 文字に興味をもち、使うことを楽しむ。(思考)            [ ] 文字に対する興味・関心を高めながら、音声言語と文字言語を結び付けて、読むことができるようにする。            ・発表した言葉（単語）を黒板に書く。            ・手拍子をしながら読む。（「さくら」なら「さ・くら」と3回、手をたたく。）</p> <p>○絵を見て想像したことを発表する。            [ ] 様々な体験を通してイメージを豊かにし、言葉で表現する。(言葉)            [ ] 友達の発表に対して、互いのよさを認め合いながら、興味をもって聞くことができるようにする。            ・友達の発表に付け足しながら、発表するように声を掛ける。            ・話している友達を見ながら聞いている児童を称賛する。            ・発表したことを基に劇などにして表現する。</p>

## ＜小学校入門期における指導の在り方＞

就学前に、児童は、ものを数えたり数字を読んだり、順番を意識したりすることなどを、日常生活の中で経験してきている。

算数科の入門期の教材は、絵や写真を中心にして構成されており、数についてのイメージを膨らませるようにしている。就学前教育での経験を基に、絵や写真とおはじきなどの具体物とを1対1に正しく対応させ、個数や順番を数えたり個数を比べたりして、数に対する概念を構築することをねらいとしている。

この学習では、具体物を用い、ものの個数を数えたり比べたりする活動を通して、数の意味について理解できるようにする。

ねらい：絵とおはじきを1対1対応させ、ものの個数を比べる。

児童の活動	○ 算数科の指導事項 □ 就学前教育で経験してきたこと ▭ 接続を考慮した指導のポイント
<p style="text-align: center;"><b>動物の数を比べよう。</b></p> <p><b>1</b> 問題の場面を確認する。            ・学校に行くところだね。            ・たくさんの動物がいるよ。            ・種類もいっぱいだね。</p> <p><b>2</b> 教科書の絵（いろいろな動物）を見て、気付いたことを発表する。            ・パンダやカバがいる。            ・一番多いのは、コアラかな。            ・イヌも多いよ。            ・どの動物が一番多いのかな。</p> <p><b>3</b> それぞれの動物の上におはじきを置き、個数を数える。            ・パンダ 3      ・カバ 4            ・コアラ 7      ・イヌ 5            ・サル 4      ・キツネ 3</p> <p><b>4</b> どの動物が多いのか、おはじき同士を1対1対応させ、比べる。            ・パンダとカバを比べると、カバの方が1多い。            ・カバとサルは同じ数だね。            ・コアラが一番多かったよ。</p> <p><b>5</b> 学習を振り返る。            ・おはじきを置くと、数えやすかったな。            ・もっと、たくさんの動物を調べてみたいな。</p>	<p>○問題場面を理解して見通しをもつ。            目的や課題を自分のこととして受け止め、これまでの経験を生かすなど工夫して取り組む。(思考)</p> <p>問題場面の構成要素(何が、いくつ)を正しく理解できるようにする。            ・どのような場面か、何がいるか、いくつあるかなどと問いかけ、児童の発言を取り上げながら、学習への興味・関心や意欲を高めるようにする。</p> <p>○気付いたことを発表し、課題を確認する。            絵を見て見付けたことをみんなの前で話す。(言葉)</p> <p>安心して発表できるような雰囲気を大切にしながら、徐々に動物の種類と数について着目させることで、課題を明らかにしていく。            ・きちんと手を挙げて、指名されてから発言する姿勢を称賛する。            ・同じ考えの児童がいるかを毎回確認し、認めていくようにする。            ・個の疑問を、全体の課題へと共有化していく。</p> <p>○動物の絵とおはじきを対応させ、数を数える。            ○おはじき同士を1対1対応させ、数を比べる。            数に興味をもち、必要感をもって使う。(思考)</p> <p>調べる活動を十分に確保し、数を比べるには、それぞれのおはじきを1対1対応すればよいことに気付くようにする。            ・席が近くの友達に、調べ方や結果を紹介する。            ・机上の操作を黒板で再現し、どのように比べたのかを説明できるようにする。</p> <p>数に関心をもち、ゲームや遊びの中で数える。(思考)</p> <p>学習の中で、便利だった方法、これからも使える方法などに着目できるようにする。            ・児童の言葉で価値付けていく。            ・次時の学習への興味・関心をもてるようにする。</p>

＜小学校入門期における指導の在り方＞

就学前に、児童は、それぞれの保育所や幼稚園等で年長児として、同年齢や異年齢の友達などに親しみをもちながら一緒に生活することを経験してきている。

生活科の入門期の学習は、就学前教育での経験を生かしながら学校において楽しく安心して遊びや生活ができるようにするために、学校の様子や学校生活を支えている人々、友達のことを分かるようにすることをねらいとしている。

この学習では、学校の様子を知る前に、まずは同じ学級の友達のことを知り、親しみの気持ちをもつようにし、学級の児童同士が好ましい人間関係や信頼関係を築いていくことができるようにする。

ねらい：クラスの友達と仲良くなり、一緒に楽しく学校生活が送れるようにする。

児童の活動	○ 生活科の指導事項 □ 就学前教育で経験してきたこと ▭ 接続を考慮した指導のポイント
<p style="text-align: center;">学級のみならず仲良くなろう。</p> <p>1 学習のめあてを確認する。 ・学級全員と仲良くなって、友達になるんだね。</p> <p>2 「よろしくね！」カードを作成する。 ・好きなものを大きく描いたら、自分のことをよく分かってもらえるかな。</p> <p>3 カードを使いながら学級全員とかわる。 ・笑顔で挨拶するといいな。 ・少し恥ずかしいけれど、頑張ってみるね。 ・たくさんの友達に声を掛けたいな。 ・自分のことを分かってもらえたか心配だな。</p> <p>4 学習を振り返る。 ・ちょっと恥ずかしかったけれど、自分から声を掛けることができたよ。 ・たくさん友達の名前を覚えてよかった。 ・新しい友達が増えて、うれしい。 ・明日からみんなに元気に挨拶したい。 ・明日から休み時間に一緒に遊びたい。</p>	<p>○学習内容を理解して見通しをもつ。 目的や課題を自分のこととして受け止め、これまでの経験を生かすなど工夫して取り組む。(思考)</p> <p>集団の一員としての話の聞き方が身に付くようにする。 ・具体物を提示しながら説明する。 ・話を聞く姿勢として、体の向きを教師に向けてるように声を掛ける。</p> <p>○相手に自分のことを伝えることを意識してカードに表現する。 様々な素材や用具を生かして自分なりに描いたり作ったりする。(創造)</p> <p>自分の思いを具体的に絵などに表すようにする。</p> <p>○積極的に友達とかわかり、自分の好きなものが相手に分かるように言葉で伝える。 すすんで挨拶をしたり、みんなの前で話したりする。(信頼) 自分の思ったことを相手に分かるように伝えたり、相手の話していることを受け入れたりする。(信頼)</p> <p>相手に分かるように伝える力を育てるようにする。 ・具体物を使って、順序立てて言葉で説明する。</p> <p>○学習を振り返り、友達とのかかわりを考える。 様々な友達とのかかわりを深め、思いやりや親しみをもつ。(信頼)</p> <p>学級集団としての意識を育てるようにする。 ・友達と一緒に活動することの喜びを感じられるようにする。</p>

## ＜小学校入門期における指導の在り方＞

就学前に、児童は、日常生活の中で音楽に親しみ、友達と一緒に聴く、歌う、踊る、楽器を鳴らすなど、音色の美しさやリズムの楽しさを味わうことを経験してきている。

音楽科の入門期の学習は、就学前教育での経験を生かしながら、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽を聴いたりする楽しさを味わうことができるようにすることをねらいとしている。

この学習では、音楽の楽しさを感じ取れるような学習活動を展開し、音楽に対する興味・関心をもてるようにしたい。さらに、活動を通して、音楽を形作っている要素として、リズム、速度、旋律などについても感じることができるようになる。

ねらい：友達と一緒に歌ったり踊ったりすることを楽しむ。

児童の活動	○ 音楽科の指導事項 □ 就学前教育で経験してきたこと ▭ 接続を考慮した指導のポイント
友達と一緒に歌を歌って、仲良しになろう。	
<b>1</b> 全員で歌を歌う。 ・指導者の範唱を聞き、友達と声を合わせて歌う。 ・この歌、知っているよ。 ・幼稚園で歌ったことがある。	○互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。 □音楽に親しみ、友達と一緒に歌う。(創造) ▭歌を楽しむことができるような雰囲気をつくる。 ・授業の始めに、多くの児童が知っていると思われる歌を歌うことで安心感をもてるようにする。 ・楽しく歌うことを大切にするとともに、きれいな声で、みんなで声を合わせて歌えたことを称賛する。
<b>2</b> 教科書の絵を見て、知っている歌を歌う。 ・この歌、知っているよ。 ・友達の範唱を聞く。 ・まねをして歌う。	○歌詞の表す場面を想像して歌う。 □音楽に親しみ、友達と一緒に聴いたり、歌ったりする。(創造) ▭教科書の絵を参考に知っている歌を見付けるようにする。 ・教科書の絵を拡大したものを黒板に掲示する。 ・指導者が旋律を弾き、曲の歌詞や旋律を思い出すことができるようにする。
<b>3</b> 歌あそびの歌を歌う。 ・教科書を見ながら教師の範唱を聞く。 ・教科書を見ながら歌う。 ・全員で歌あそびをする。	○友達と一緒に表現する楽しさを味わう。 □友達と一緒に遊ぶ喜びや満足感を味わう。(協同) ▭歌いながら遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ・じゃんけんをする場面では、学級の誰とでもかわれるように声を掛ける。 ・学級全員が歌あそびをすることで、達成感を感じられるようにする。 ・慣れてきたら、速く・ゆっくりなど速度を変えて、音楽をよく聞いて歌ったり歩いたりできるようにする。
<b>4</b> 学習の振り返りをする。 ・いろいろな歌を歌って楽しかった。 ・歌あそびをまたやりたい。 ・他の歌も歌いたい。	○活動を振り返り、感想を話し合う。


＜小学校入門期における指導の在り方＞

就学前に、児童は、様々な素材や器具を利用して、自分なりに描いたり作ったりすることを楽しむとともに、友達と一緒に工夫して作ったり、作ったもので遊んだりするを経験してきている。

図画工作科の入門期の学習では、就学前教育での経験を生かしながら、自分の思いを表現することにすすんで取り組み、作品を作り出す喜びがもてるようにすることをねらいとしている。

この学習では、身近な材料に自分から働き掛け、イメージをもちながら作品を作っていくようにする。また、友達と協力して作る楽しさを十分に感じることができるようになる。

ねらい：身近な自然物を基に、思い付いた山や川などを友達と協力して作る。

児童の活動	○ 図画工作科の指導事項 □ 就学前教育で経験してきたこと ■ 接続を考慮した指導のポイント
友達と一緒に、砂場に「すてきなもの」をつくろう。	
<p><b>1</b> 学習のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班ごとに作品を作り、作り終わったら作品を見合いながら感想を発表する。</li> <li>・注意事項を確かめる。 (材料、用具の使い方のきまりなど)</li> </ul> <p><b>2</b> 班ごとに作品を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな三角の山を作ろう。</li> <li>・小さい枝で橋を作るのはどうかな。</li> <li>・そっちから穴を掘ってね。ぼくは、こっちから穴を掘るから合体させよう。</li> <li>・2班さんは、葉っぱを使っていておもしろそうだな。私たちがやろうよ。</li> </ul> 	<p>○学習内容を理解して見通しをもつ。</p> <p>目的や課題を自分のこととして受け止め、これまでの経験を生かすなど工夫して取り組む。(思考)</p> <p>■ 班ごとに作る際に、注意することを確かめるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いを通して、どのような作品を作るのか、用具を使うときのきまりはどうするのかなどについて一緒に確認していく。</li> <li>・友達のアイディアのよいところは互いに取り入れてもよいことを伝える。</li> </ul> <p>○砂、小石、木の葉、小枝などの材料に働き掛けながら作る。</p> <p>○それぞれの感覚や気持ちを生かしながら楽しく作る。</p> <p>様々な材料や器具を利用して自分なりに作ることを楽しむ。(創造)</p> <p>友達と一緒に工夫して作ることを楽しみ、それを遊びに使う。(創造)</p> <p>共同の用具を大切に、譲り合って使う。(規範)</p> <p>■ 材料や器具の利用の仕方など友達のアイディアを伝えて、活動が広がるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の班が使っている用具の利用の仕方に気付くようにする。</li> <li>・児童が気付きやすいところに、材料になりそうなものを用意したり、材料となる植物がある場所を伝えたりする。</li> </ul>
<p><b>3</b> 互いの作品を見合っ、感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お花をいっぱい付けたのが素敵だな。</li> <li>・協力して作ることができたよ。</li> <li>・一緒に作った友達と仲良くなれてうれしかった。</li> </ul>	<p>○自分や友達の作品を楽しく見る。</p> <p>■ 友達と活動する中で、互いのよさを認め合う。(協同)</p> <p>■ 自分や友達のよさに気付くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動中に、材料や活動の工夫、協力したことなど、児童に気付かせたい観点に沿って助言したり称賛したりする。</li> <li>・児童が友達や教師から称賛されるような場を設定する。</li> </ul>

＜小学校入門期における指導の在り方＞

就学前に、児童は、様々な遊具や用具を使って工夫して遊んできた。また、友達と一緒に遊ぶことを通して自分たちで遊び方やきまりを考え、それを守って遊ぶことを経験してきている。

体育科の入門期の学習では、固定施設を使うなどして、様々な動きを身に付けることをねらいとしている。就学前教育での経験を生かしながら、きまりや遊びのルールを友達と話し合いながらつくることも大切にしていこうとする。

この学習では、校庭にある固定施設を使った遊び方を知らせるとともに、鬼遊びを通して、友達と一緒に体を動かすことの楽しさを味わいながら、遊びのルールをつくることができるようにする。

ねらい：校庭の遊具を使って、きまりを守って遊べるようにする。

児童の活動	○ 体育科の指導事項 ■ 就学前教育で経験してきたこと □ 接続を考慮した指導のポイント
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">校庭でたくさん遊ぼう。</p> <p><b>1</b> 学習のめあてを確認し、準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使う部位を中心に体を動かす。</li> <li>・集合の練習をする。</li> </ul> <p><b>2</b> 校庭の遊具(固定施設)を使って遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具の安全な使い方を知る。 「いろいろ遊ぶものがあるね。」 「すべり台を下から登ったら危ないよ。」</li> <li>・気に入った遊具で遊ぶ。 ※ジャングルジム、雲てい、登り棒など、実態に応じて運動する箇所を限定するなどして安全面に配慮して、順番に遊ぶようにする。</li> </ul> <p><b>3</b> 手つなぎ鬼をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめのルール」を知る。</li> <li>・「はじめのルール」にのっとなって、学級全員で手つなぎ鬼をする。</li> </ul> <p><b>4</b> 整理運動を行い、学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理運動をする。</li> <li>・手つなぎ鬼のルールについて話し合う。 「鬼の数が増えすぎると走りにくい。だから、鬼が増えたら、動きやすい人数に分かれるといいと思う。」 「つかまえるときに、鬼の手が離れたら、つかまった人は、鬼にはならないようにしたらいいと思う。」</li> <li>・学習の感想を発表する。</li> </ul>	<p>○学習のめあてを理解して見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     目的や課題を自分のこととして受け止めて、すすんで取り組む。(思考)                 </div> <p>○登り下り、渡り歩き、逆さ姿勢、懸垂移行といった動きができるようにする。</p> <p>○きまりを守り仲良く運動したり、場の安全に気を付けたりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     様々な遊具を使って工夫して遊ぶ。(運動)                 </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     校庭の遊具の安全な使い方について、遊ぶことを通して身に付くようにする。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの経験を基に、保育所や幼稚園等で守ってきた遊具のきまりを想起するように声を掛ける。</li> <li>・友達と譲り合うことの大切さに気付くようにする。</li> </ul> </div> <p>○相手(鬼)をかわしたり走り抜けたりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     いろいろな遊びの中で、十分に体を動かす。(運動)                 </div> <p>○楽しく遊ぶための簡単なルールを工夫する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     自分の思ったことを相手に分かるように伝えたり、相手の話していることを受け入れたりする。(信頼)                 </div> <p>○自分たちで考えたルールで、手つなぎ鬼をして遊ぶことの楽しさを味わう。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">                     ルールをつくる楽しさが経験できるようにする。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめのルール」で遊んだことを基に、うまくできなかったことの改善や、より楽しくするための工夫といった観点からルールを考えるようにする。</li> </ul> </div>

＜小学校入門期における指導の在り方＞

就学前に、児童は、保育所や幼稚園等の生活の中で、必要感をもって自分で気付いて様々な仕事に取り組んできた。その中で、みんなのために仕事をしてよかったという思いをもつ経験をしてきている。

特別活動の学級活動では、就学前教育での経験を生かしながら、友達と助け合い、みんなのために働くことで自分たちの学級を楽しくしようとする態度の基盤を身に付けていくことをねらいの一つとしている。

この活動では、学級会での話し合いを通して、自分たちで学級の仕事に気付き、係を決めていくことで、必要感のある係を自分たちで話し合っただけで決めたという達成感を味わうことができるようにする。

ねらい：学級で必要な仕事を見だし、友達と協力して仕事をしようとする。

児童の活動	○ 特別活動の指導事項 ■ 就学前教育で経験してきたこと □ 接続を考慮した指導のポイント
<p>みんなで話し合って、係を決めよう。</p> <p>1 話し合いの議題を確かめる。                      ・先生は、いろいろな仕事をしているな。                      ・ぼくたちでもできる仕事があるよ。                      ・幼稚園では、見回り当番の仕事をして、先生に褒められたことがあるよ。                      ・保育所では、金魚のえさやりの当番の仕事をして、楽しかったよ。                      ・小学校でも仕事をしたいな。</p> <p>2 どんな仕事が必要か話し合う。                      ・給食の前に机を拭く仕事をやるというよ。保育所でやったよ。                      ・教室のお花に毎日水をあげないと、枯れてしまうよ。                      ・6年生のお姉さんが黒板の字を消していたよ。私もやりたいな。</p> <p>3 係の決め方について話し合い、係を決める。                      ・やりたい係をみんながやればいい。                      ・やりたい人が多すぎたらどうするのかな。                      ・譲ってあげて、次のとき、やらせてもらえばいいよ。                      ・じゃんけんで決めるのはどうかな。</p> <p>4 話し合い活動を振り返る。                      ・係でどんな仕事をするのか次の時間に詳しく相談したいな。                      ・みんなと仕事するのが楽しみだな。                      ・早く仕事をしてみたい。                      ・係の名前をつけたいな。                      ・みんながやりたいから、やる順番を決めた方がいいと思う。</p>	<p>○学級生活を送る上で必要な係を話し合って決めることへの見通しをもつ。                      ■ 目的や課題を自分のこととして受け止める。(思考)                      □ 入学してからの学級の状況を振り返らせることで、みんなで役割を分担して取り組むことのよさに気付くようにする。</p> <p>○必要だと思う係を考え、自分の意見を発表する。                      ■ これまでの経験を生かして考える。(思考)                      □ 必要だと思う係を考えられるようにする。                      ・保育所や幼稚園等での経験を生かすようにする。                      ・担当が日常的に行っている仕事や担任から頼まれて行った仕事（これまでに意図的に経験させておく。）を基にして考えるように助言する。</p> <p>○友達の意見を聞いたり、気遣ったりして仲良く話し合う。                      ■ 友達との考えの違いやうまくいかなかった経験を通して、友達と折り合いをつけながら、問題を乗り越える。(協同)                      □ 学級会の進め方を理解できるようにする。                      ・教師が司会と記録を行う。(回数を重ねながら、徐々に進行を児童に任せるようにしていく。)</p> <p>○今後の活動に対する見通しをもつ。                      ■ 生活に必要なことを友達と一緒に進め、自分の役割を果たすことに喜びを感じる。(規範)                      □ 自主的・自発的に活動することの大切さに気付くようにする。                      ・仕事をすすんでしてくれた児童の例を紹介し、自分で仕事をする大切さに気付かせる。                      ・友達と一緒に考えて活動することの楽しさに期待感がもてるようにする。</p>